

D 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I . 次の文1～9を読み、下記の設問A～Dに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

1. 中国の歴史書である『漢書』地理志には、「夫れ（イ）海中に倭人有り、分れて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ」とある。また『三国志』の『魏書』東夷伝倭人条によると、倭国では大きな争乱を経て、女王国を中心とした30国ばかりの小国の連合が生まれたという。女王国には「租賦を収むに邸閣有り」とあり、これによれば少なくとも（ロ）世紀前半には、倭国に租税の制度が整っていたらしい。
2. 養老令には、帳簿によって人民を把握し租税を課す制度が規定されている。全国が畿内・七道¹⁾に行政区分され、国・郡・里が置かれた。人々は戸に編成され、（ハ）戸で1里が構成されるように里が編成された。この戸を単位として口分田が班給され、人々は租・調・庸・雑徭等を負担したのである。やがて口分田の不足等の理由により、政府は（ニ）年に墾田永年私財法を発し、身分に応じて一定の面積の墾田の私有を永年にわたって保障した。これにより、貴族・大寺院や地方豪族の私有地拡大が進んだ。
3. 8世紀後半から9世紀になると、人々の間に貧富の差が拡大し、律令の制度が実態と合わなくなった。（ホ）天皇は公民たちの維持をめざし、公出拳の利息の利率を下げ、雑徭²⁾の期間を半減するなどの施策をおこなったが効果はなかった。こうして国家財政の維持が困難になると、政府は823年、大宰府に（ヘ）を設けるなど、直営方式を採用して財源の確保につとめた。しかし、やがて少数の皇族や貴族が私的に多くの土地を集積し、国家財政を圧迫しつつ勢いをふるうようになった。
4. 10世紀の初めは、のちに天皇親政の理想的時代とたたえられた。しかし、914年に三善清行が＜あ＞天皇に提出した「意見封事十二箇条」には、地方行政の荒廃とそれによる国家財政の衰退が指摘されている。人々を個別に把握して課税することができなくなった政府は、土地を基礎として、国司へ租税納入を請け負わせるようになった。10世紀後半になると、各地で有力者がさかんに土地開発をおこなった。かれらのうちには、税の負担を逃れるため土地を有力貴族や寺社に寄進するものがあらわれた。
5. 後三条天皇は＜い＞らの人材を登用し、国政改革に取り組んだ。1069年、中央に記録荘園（ト）所を設けて、荘園の所有者から提出された証拠書類である（ト）と国司の報告とをあわせて審査し、基準にあわない荘園を停止した。この荘園整理によ

って一国の編成は、貴族や寺社が支配する土地と、国司の支配する土地とで構成される体制に変化していった。

6. 白河天皇は1086年、幼少の堀河天皇に位を譲ると、上皇として天皇を後見しながら政治の実権を握る院政の道を開いた。院政はその後、鳥羽上皇、後白河上皇と100年余り続いた。この院政期には貴族文化が、新たに台頭してきた武士や庶民とその背後にある地方文化を取り入れるようになった。³⁾後白河上皇が民間の流行歌謡を学んで『(チ)』を編んだことは、貴族と庶民の文化との深い関わりを示している。

7. 1192年、源頼朝は征夷大將軍に任じられた。鎌倉幕府には中央機関として、御家人を組織・統制する侍所、はじめは(リ)と呼ばれた一般政務や財政事務をつかさどる政所、裁判事務を担当するくう>などが置かれた。1203年、北条時政は2代將軍源頼家を幽閉し、弟の実朝をたてて鎌倉幕府の実権を握った。この時政の地位は(ヌ)と呼ばれて、子の義時にひきつがれた。義時は1213年、<え>を滅ぼすと、政所と侍所の長官を兼ねてその地位を固めた。

8. 1336年、京都を制圧した足利尊氏は、(ル)統の光明天皇を立てたが、以降約60年にわたる動乱が始まった。動乱の中で、武士を地域ごとに統括する守護が、軍事上、大きな役割を担うようになった。地方武士を動員するために守護の権限が拡大され、軍費調達のために年貢の50%を徴発する権限を認めた(ヲ)令が發布された。その後、足利義満は幕府の機構を整えた。1398年以降、足利氏一族の3家から交代で將軍を補佐する管領が任命されたが、この3家を三管領⁴⁾と呼ぶ。

9. 豊臣秀吉は獲得した領地に検地をおこない、1つの土地に何人もの権利が重なっていた状態を整理した。面積表示を新しい基準のもとに定めた町・段・(ワ)・歩、容積も枳の大きさを(カ)枳で統一した。そして田畑に等級をつけ、その耕作者を土地台帳に記載したのである。これにより、莊園制は完全に崩壊することとなった。農民は田畑の所有権を認められたが、それに応じた年貢などの負担を義務づけられることになった。年貢の納入額は、石盛に面積を乗じて得られた量の<お>が一般的で、村が一括して年貢を納入する村請がおこなわれた。織田信長・秀吉の時期をその居城の地名にちなんで安土・桃山時代とも呼び、この文化を桃山文化⁵⁾という。

A. 文中の空所(イ)～(カ)それぞれにあてはまる適当な語句または数字をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉～〈お〉にあてはまる適当な語句または数字を，それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選び，その記号をマークせよ。

- 〈あ〉 a. 宇多 b. 光孝 c. 醍醐 d. 村上
〈い〉 a. 大江匡房 b. 小野好古 c. 藤原隆家 d. 慶滋保胤
〈う〉 a. 勘定奉行 b. 雑訴決断所 c. 評定所 d. 問注所
〈え〉 a. 畠山重忠 b. 比企能員 c. 三浦泰村 d. 和田義盛
〈お〉 a. 1/2 b. 1/3 c. 2/3 d. 1/4

C. 文中の下線部 (1)～(5) にそれぞれ対応する次の問 1～5 に答えよ。解答はそれぞれ与えられた a～d から 1 つずつ選び，その記号をマークせよ。

1. このうち，大宰府に統轄されたのはどれか。

- a. 西海道 b. 山陰道 c. 山陽道 d. 南海道

2. 養老令に規定された正丁のそのの期間はどれか。

- a. 90日以下 b. 60日以下 c. 30日以下 d. 15日以下

3. この時期の代表的な美術作品はどれか。

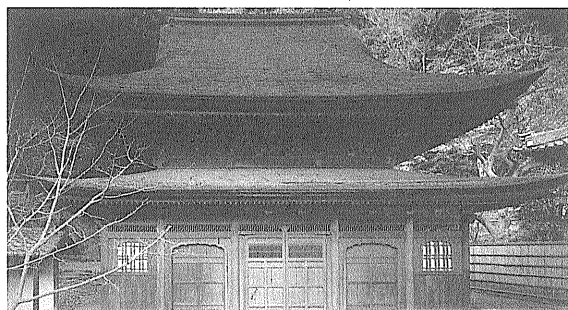
- a. 源氏物語絵巻 b. 西行物語絵巻
c. 風信帖 d. 離洛帖

4. これでないのはどれか。

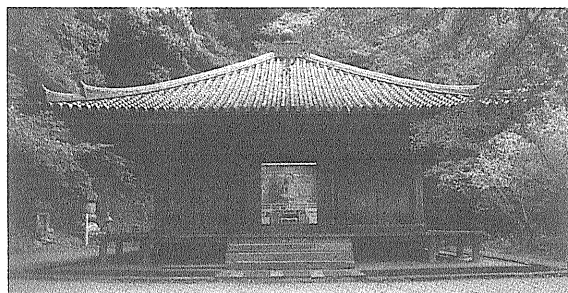
- a. 上杉氏 b. 斯波氏 c. 畠山氏 d. 細川氏

5. これの代表的な建築作品はどれか。

a.



b.



c.



d.



D. 文中の下線部 を何と呼ぶか。その名を漢字5字でしるせ。

II. 次の文1～7を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 近世以前の庶民の旅は、徒歩や馬が中心であり、過酷なものであった。「可愛い子には旅をさせよ」という諺も、旅の難行苦行から転じて作られたものである。風雨にさらされる道中は厳しいものであったが、江戸期には主要道路や水上交通が整備され、庶民は遠方の寺社や名所・温泉への物見遊山の旅をするようになった。

十返舎一九の著した『東海道中膝栗毛』では、主人公たちが江戸から伊勢を経て、奈良・²⁾京都・大坂へと足を運んだ旅の様子が描かれている。また、三河の国学者の（イ）は、40年にわたって東北各地を旅して、『（イ）遊覧記』を著した。江戸期の庶民の旅では、伊勢神宮に参詣する伊勢参りが有名であるが、18世紀初頭からほぼ60年周期で3回発生した数百万人の庶民による集団参詣は、（ロ）とも呼ばれた。

2. 明治期に登場した鉄道は、旅の様相を大きく変えた。新政府は殖産興業政策の一環として鉄道の整備を進めた。1872年に新橋・横浜間で日本初の鉄道が正式開業し、ついで神戸・大阪・京都間にも鉄道が開業した。

日本の民間伝承の調査・研究を通じて、⁴⁾常民の生活史を明らかにする民俗学を確立した（ハ）は、鉄道と旅の関係に早くから注目した1人である。（ハ）は、著書の中で、「汽車が通じたから出て来た」人びとが「遊覧の客」になったと述べている。鉄道の開通によって、辛く厳しい旅は、より気楽な観光に変質したのである。

3. 華族の出資を中心に1881年に設立された（ニ）会社の成功を受けて、鉄道建設ブーム⁵⁾がおこった。各地に設立された鉄道会社にとって、観光客や行楽客の誘致⁶⁾は、重要な経営戦略の1つであった。鉄道会社は、観光資源としての寺社に注目し、初詣をはじめとして、沿線にある寺社への参詣客輸送に積極的に取り組んだ。1906年に軍事上の必要から第1次（ホ）内閣により鉄道国有法が公布され、主要な幹線は買収されたが、その後も、国鉄と私鉄の間で観光地をめぐる競争が続けられた。

4. 華麗な建築様式⁷⁾を誇る日光東照宮は、幕府の庇護の下、江戸期より多くの参詣客を集めた。将軍家の日光社参は、往復8泊9日を恒例としていたが、明治期に入ると、馬車や人力車の利用で行程が大きく短縮された。大森貝塚を発見したアメリカ人の（ヘ）も、東京から日光への旅行をおこなっている。1890年に（ニ）会社が、宇都宮駅から日光駅までの延伸を果たすと、日光への交通アクセスは飛躍的に改善した。両大戦間

期には、東武鉄道による日光線も開業し、東照宮という観光資源を活用した一大観光地が形成された。

5. 「湘南」とは、逗子や鎌倉、大磯など、神奈川県の相模湾沿岸の地域を指している。1887年に東海道線が神奈川県の国府津こうつまで延伸され、東京や横浜から日帰り可能な行楽地として、この地域の開発が進んだ。民友社を設立した人物の弟で、小説『不如帰』の著者でもある（ト）が、1897年に日刊の新聞上で逗子の自然を「湘南歳余」として紹介しており、19世紀末頃には「湘南」という呼称が定着していたようである。正岡子規もしばしば湘南を訪れ、大磯の月を「名月や大海原ちりは塵もなし」と詠んでいる。⁸⁾

江ノ島や鎌倉への遊覧客は、東海道線の藤沢駅を利用した。福沢諭吉の「脱亜論」が掲載された日刊新聞の『（チ）』でも、「若し江ノ島鎌倉見物の望みあれば爰ここ（藤沢駅…引用者）に車を下り」と、同駅が観光拠点になっていたことが報じられている。

6. 第一次世界大戦後における都市化の進展と市民生活の変容をとらえ、沿線での電気事業、¹⁰⁾不動産事業、流通事業、観光事業を組み合わせた「日本型私鉄経営」を確立したのが、1907年設立の箕面有馬電気軌道を率いた（リ）である。（リ）は乗客の増加を図るため、沿線での住宅開発を進め、遊園地や動物園、温泉などの娯楽施設を運営した。

また、両大戦間期の日本では、訪日外国人観光客が著しく増加した。国際観光の発展に大きく寄与したのは、1912年設立のジャパン・ツーリスト・ビューローである。同社の創立にあたっては、鉄道院や南満州鉄道株式会社、日本郵船、帝国ホテルなど、外国との接点のある組織・機関の関係者が発起人となった。¹¹⁾

7. 日中戦争の開戦以降、戦時色が強まる中で、不要不急の旅行の制限が進められた。鉄道においては、¹²⁾平時輸送から戦時輸送への転換が進み、観光輸送も縮小していった。1943年2月には多くの特急が廃止となるダイヤ改正がおこなわれた。¹³⁾翌年4月には一等車、展望車、寝台車、食堂車なども廃止された。

第二次世界大戦後における観光業の本格的な展開は、レジャーブームの到来する1960年代に入ってからであった。重要政策に関する基本方針や大綱などを示すため、政府は各種の基本法を制定したが、観光政策に関しても、オリンピック東京大会の前年に、¹⁴⁾（ヌ）内閣が観光基本法を制定した。高度経済成長期に日本人の所得水準は向上し、余暇時間の増加とともに、観光の多様化が進んでいった。

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部(1)～(14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 五街道を管理した道中奉行は、若年寄の支配下に置かれた
- b. 宿駅には、公用の文書や荷物の継送にあたる問屋場が置かれた
- c. 宿駅には、大名や公務旅行者が利用する本陣・脇本陣が置かれた
- d. 角倉了以により富士川や高瀬川が整備された

2. この分類として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 黄表紙
- b. 滑稽本
- c. 人情本
- d. 読本

3. これに関する次の出来事i～iiiについて、もっとも古いものから年代順に並んでいる組合せはどれか。下記のa～fから1つ選び、その記号をマークせよ。

- i. 前島密の建議により、郵便制度が発足した
- ii. 官営模範工場として、富岡製糸場が開業した
- iii. 東京・横浜間に電信線が架設された

- a. i－ii－iii
- b. i－iii－ii
- c. ii－i－iii
- d. ii－iii－i
- e. iii－i－ii
- f. iii－ii－i

4. これに関する次の文を読み、下記の問i・iiに答えよ。

開港後の経済的混乱の中で、幕末の大坂は経済面で大きな打撃を受けた。維新後、
薩摩藩出身の五代友厚を中心に、堂島米会所、大阪商法会議所、大阪株式取引所などが設立され、大阪経済は復興の途を歩んでいった。

i. 文中の下線部①に関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 大量の金貨の海外流出に対して、万延の貨幣改鑄を実施した
- b. 五品江戸廻送令が出され、雑穀・水油・蠟・呉服・生糸の5品目の横浜直送が禁止された
- c. 1865年の輸出品は生糸が約80%を占め、輸入品は武器が約40%を占めた
- d. 輸出入品の取引は、居留地で銀貨を用いておこなわれた

ii. 文中の下線部②に関して、開拓使官有物払下げ事件で、この人物関わった会社名を漢字5字でしるせ。

5. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 華族は、華族・士族との結婚は認められたが、平民との結婚は認められなかった
 - b. 華族は、内閣によって貴族院の勅選議員に任命された
 - c. 華族令により、公・侯・伯・子・男の 5 爵が設けられた
 - d. 版籍奉還に際して、藩主や公卿、勲功のある藩士、高禄の旧幕臣を華族とした
6. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 東海道線が全通した年に、官営鉄道が民営鉄道の営業距離を上回った
 - ii. 日露戦争前に青森・下関間の幹線鉄道が連絡された
- a. i : 正 ii : 正
 - b. i : 正 ii : 誤
 - c. i : 誤 ii : 正
 - d. i : 誤 ii : 誤
7. これと建物との組み合わせとして正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 寝殿造—桂離宮
 - b. 寝殿造—日光東照宮
 - c. 数寄屋造—桂離宮
 - d. 数寄屋造—日光東照宮
8. 日本で最初のこれはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大阪毎日新聞
 - b. 東京日日新聞
 - c. 郵便報知新聞
 - d. 横浜毎日新聞
9. この人物が記者をしていた新聞『日本』を創刊した人物はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 陸羯南
 - b. 志賀重昂
 - c. 高山樗牛
 - d. 三宅雪嶺
10. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 東京六大学野球が始まり、人気を集めた
 - b. 人気通俗小説を劇化して上演する新派劇が登場した
 - c. 原敬内閣によって、都市計画法が公布された
 - d. ラジオ放送が始まり、日本放送協会が設立された

【以下余白】

